

## 提出された意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>本構想では、近隣施設や名所との接続が考慮されています。こうした整備は、地域全体における魅力の向上や再発見につながると思いますが、名所と言われているような箇所であっても知名度が低く、来訪者が少ない（特に若者や県外からの来訪者）ことも考えられるため、水上交通だけでなく地域の文化も強調した整備やPRが必要です。</p>	<p>魅力ある川の駅を目指し、川の駅の整備について検討する際には、駅周辺の魅力（資源）の掘り起こしやその情報発信など、ソフト面の強化についても検討させていただきます。</p>
2	<p>本構想では、大学近くに整備することにより、大学との連携を図り、新たな特色ある取り組みを目指しています。これを実現させるには、学生主体の団体等を立ち上げ、中心となる活動団体として活動できるようにする必要があります。また、学生だけでなく様々な主体から構成された団体が参加できるようにすることにより、市民の関心が高まり、さらなる「にぎわい」が期待できると考えます。そのためにも、本構想を積極的にPRし、市民の認知度を向上させるような施策が必要です。</p>	<p>川の駅の整備や活用については、市民団体や地域コミュニティのほか、大学などとも連携しながら検討する必要があると考えていますので、いただいた意見を参考に、今後の取り組みを進めていきます。</p>
3	<p>本構想の本来の目的である「地域資源であるひょうたん島の魅力を活かし徳島の価値を高め景観形成及び地域活性化やまちづくりへ繋ぐ事業」の中での「川の駅構想」であるはずが、施設整備の公共事業に対する説明書のように感じます。</p> <p>消費者（市民）の大多数の人へ「欲しい」「必要である」と思ってもらえるような商品（事業）の紹介やプレゼンテーションができず不要な公共事業へ無駄なお金を使わされるところを恐れ、構想自体が反対されないよう、伝える方法にもっと力を入れるべきです。</p>	<p>本構想に掲げた目的について御理解いただけるよう、今後とも効果的・積極的な情報発信に努めていきます。</p>

4	<p>現在の徳島市では交通手段が限られており、自動車を持たない人たちは移動手段に不便を感じています。主要道路での渋滞もしばしば見られ、定刻通りに走る路線バスが少なく、タクシーも代金を気にしてしまうため、気軽に使える公共交通手段がありません。</p> <p>そんな中、徳島市内を流れる川を利用したこの構想では、バスのように路線図が複雑でないため、慣れない人や初めて徳島を訪れた人でも気軽に利用できると思います。また、新たな駅の候補地にアスティ徳島等の中心地から少し離れた場所もあるため、自転車では遠いと感じていた場所へも移動できる有効な手段であると思います。</p>	<p>現在の主に観光を目的としたひょうたん島周遊船を、市民の新たな移動手段として活用することができれば、全国に発信できる本市の新たな魅力づくりや、本市が目指す自動車に頼らない「歩いて暮らせる、歩いて楽しめるまちづくり」にも寄与することから、このたび、観光と市民の新たな移動手段の両面を見据えて本構想の見直しを行いました。</p> <p>今後は、本構想に掲げた目的の実現に向け、市民団体や地域コミュニティ、大学などとも連携しながら川の駅の整備や活用について検討を進めるとともに、構想に掲げた新たな4か所の川の駅の候補地については、有効性を検証したうえで整備していきます。</p>
5	<p>国や県から補助金を貰ったりして、川の駅の建設費や維持管理費が安くなるような工夫をしたりして、できるだけお金がかからない計画にしたいと思います。</p>	<p>本構想を進める際には、安全面に配慮するとともに、可能な限り効率的で効果的な整備を行っていきます。</p>
6	<p>すべての川の駅がJRの駅から離れており不便だと感じるので、JR阿波富田駅に北口を設け、かちどき橋西側に棧橋を設ければ利用者は増えると思います。</p>	<p>公共交通機関との連携は、利用者の利便性向上のためにも重要であると考えていますので、いただいた意見は、川の駅の整備を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>徳島城博物館助任棧橋の周辺では交通量が多いため、遊歩道の整備は必要不可欠です。</p>	<p>ひょうたん島を一周する遊歩道の整備については、ひょうたん島の魅力向上や健康まちづくりに寄与することから、川の駅の整備とともに遊歩道の整備についても合わせて検討していきます。</p>
8	<p>徳島城博物館助任棧橋の後背地には徳島城跡、徳島城博物館、イベント広場、徳島大学などがあるため、後背地の活用や学生の通学手段として活用がしやすいと思います</p>	<p>川の駅の整備や活用について、いただいた意見を参考とさせていただきます。</p>
9	<p>徳島文化公園前棧橋は、後背地を生かした地域の人たちが集まれるコミュニティとしての整備も合わせて行うべきです。</p>	<p>本構想に掲げた基本方針として、川の駅は、市民団体や地域コミュニティなどとも連携し、地域に応じた駅舎の機能を検討・整備するなどして、地域の重要な都市機能（拠点）の一つとなるよう取り組みを進めることとしています。</p> <p>いただいた意見は、川の駅の整備を検討する際の参考とさせていただきます。</p>

10	<p>日常的に利用する交通機関としての利用は難しいので、船を利用してその場所へ行きたくなるような、後背地の活用を希望します。</p>	<p>魅力ある川の駅を目指し、後背地の活用も含めて検討していきます。</p>
11	<p>水資源の豊富さは、水量や川幅だけではなく、それによってもたらされる資源（水中生物など）も水資源の一つではないかと考えます。それらを楽しめるような機能の追加を検討してほしいです。そうすれば、水都とくしまの水資源の豊かさを更に感じる事ができます。</p>	<p>水都とくしまの魅力向上を図るため、いただいた意見は、川の駅の整備を検討する際の参考とし、更に川や水が身近に感じていただけるよう取り組んでいきます。</p>
12	<p>バーベキューやアーバンキャンプが楽しめる施設整備が徳島文化公園前棧橋で検討されており中心市街地近辺でこうした野外型の施設は少なく、需要は高いと思います。</p> <p>しかし、冬季ではこうした施設の需要は少ないと思いますので、季節ごとの需要に対応した柔軟な施設の整備をして欲しいです。また、老若男女問わず、様々な人々が利用できる施設を期待しています。</p>	<p>川の駅を整備する際には、機能や活用方法についての課題等を徹底的に抽出し、十分に議論したうえで進めていきたいと考えています。</p> <p>いただいた意見は、川の駅の整備を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
13	<p>これから整備する駅や既存の駅に関して、スロープ等誰もが使えるデザイン（ユニバーサルデザイン）に整備すれば、多くの年齢層の人たちが利用できると思います。</p> <p>また、利用する人の駅へアクセス手段を考慮し、駅周辺に駐輪場や駐車場があればよいと思います。</p>	<p>多くの方に川の駅を利用してもらうためには、ユニバーサルデザインに配慮することや利用者の利便性の向上を図るための駐輪場を整備することは重要であると考えています。</p> <p>いただいた意見は、川の駅の整備を検討する際の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>万代中央ふ頭棧橋は、棧橋のみ整備済とありましたが、車椅子で乗り降りするには危険な幅で、介助していた時も脱輪しそうになりました。また、イベント時などはかなりの利用者が並ぶ状態となり、時には渡棧橋へ多くの人に乗ることがありますが、十分な安全性が確保されているとはとても思えません。</p>	<p>利用者の安全確保は、本構想を進めるうえで最も重要であると認識しています。</p> <p>いただいた意見については、棧橋の設置者など関係機関にも伝えたいうえで、安全に利用できるよう協議していきます。</p>

15	<p>コミュニティサイクルの制度は、人の流れを活発にすると考えますが、自転車による交通が増加するにつれ、事故に遭遇するリスクも増加すると考えられます。特に徳島市の中心市街地においては細街路が多く、歩道の幅も狭いため、通行人や自転車の通行における安全性の確保は必須であると考えます。</p> <p>よって、歩行者や自転車が安全に通行できるような整備が必要です。</p>	<p>本市では、平成 28 年度に国土交通省及び警察庁により「安全で快適な自転車利用環境ガイドライン」が改訂されたことを受け、平成 29 年度から「徳島市自転車歩行者道整備計画（すいすいサイクル事業）」を見直していく予定です。</p> <p>いただいた意見は、計画を見直す際の参考とさせていただきます。</p>
16	<p>各駅でイベント等を行うことで徳島市全体を盛り上げて、川からにぎわう「水都とくしま」が実現することを期待します。</p>	<p>市民団体や地域コミュニティ、大学などとも連携しながら、川の駅の魅力を高める取り組みを検討し、川の駅を市民の憩いの場・交流の場として活用していきます。</p>
17	<p>三ツ合橋周辺などは特に緑が少なく、コンクリート護岸が見えており、青石で整備されている場所との差が著しいため、整備が必要ですが、住宅などがあり整備が難しいので、コンクリート護岸やパチンコ店などの建物を生かした整備を行うべきです。</p>	<p>川の駅の魅力の向上を図るためには、周辺の景観整備も重要であると考えています。</p> <p>いただいた意見は、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
18	<p>新町川を守る会の周遊船は、徳島県の総合防災訓練にも役割を持って参加しています。災害発生時の考え方等も市民へ伝えることも大事です。</p>	<p>南海トラフ地震など、大規模災害発生時の対応をあらかじめ検討しておくことは、利用者の安全確保の観点からも大変重要であると認識しています。</p> <p>いただいた意見については、今後の取り組みの参考とさせていただきます。</p>
19	<p>天候に左右される交通手段であるため、雨天時の運営を工夫するべきです。</p>	<p>雨天時の運航については、今後、検討すべき課題であると認識していますので、関係団体と連携しながら十分に検討していきます。</p>